

令和5年度 前期 学校アンケート（児童）のまとめ

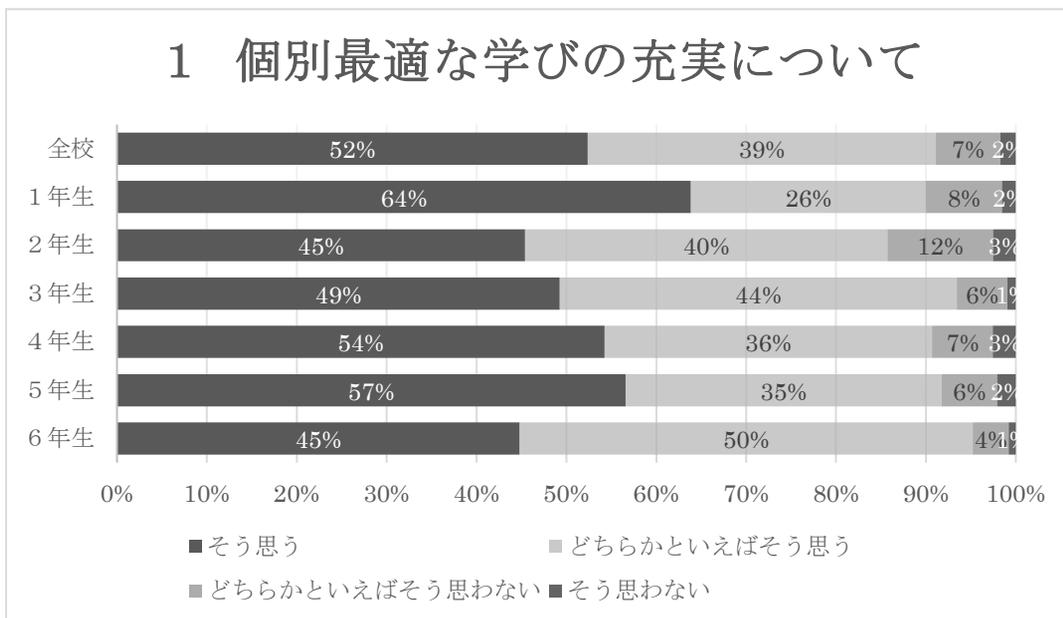
2学期初めに、児童対象の学校アンケートを実施しました。結果について御報告いたします。

<アンケート項目> （回答選択肢: と思う・どちらかといえば思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない）

学校生活についてのアンケート (1・2年生)	学校生活についてのアンケート (3・4年生)	学校生活についてのアンケート (5・6年生)
(1) じゅぎょうでは、学しゅうのしかたを自分でえらんだり、かんがえたりして学しゅうをすすめてしていますか。	(1) じゅぎょうでは、学習の仕方を自分でえらんだり、考えたりして学習をすすめていますか。	(1) 授業では、学習の仕方を自分で選んだり、考えたりして学習を進めていますか。
(2) じゅぎょうでは、すすんで友だちとはなしあったり、自分のかんがえたことをわかりやすくつたえたりすることができますか。	(2) じゅぎょうでは、自分と他の人のかんがえをくらべたり、わかりやすくまとめてつたえたりすることができますか。	(2) 授業では、様々な視点から考え、根拠を明らかにして表現することができますか。
(3) 学こうのじゅぎょうでは、タブレットたんまつをつかいながら学しゅうすることができますか。	(3) じゅぎょうでは、タブレットたんまつをつかいながら学習することができますか。	(3) 授業では、タブレット端末を活用しながら学習し、自分の学びに生かしていますか。
(4) 体いくの学しゅうにたのしくとりくみ、すすんでうんどうしていますか。	(4) 体育の学習に楽しくとりくみ、すすんでうんどうしていますか。	(4) 体育の学習に楽しく取り組み、すすんで運動していますか。
(5) 先生はよいことをほめ、よくないことをしっかりとおしえてくれますか。	(5) 先生は、よいことをほめ、よくないことをしっかりとしどうしてくれますか。	(5) 先生は、よい行動をほめ、よくない行動をしっかりと指導してくれますか。
(6) 自分は、いじめはぜったいにしないとおもいますか。	(6) 自分は、いじめはぜったいにしないと思いますか。	(6) 自分は、いじめは絶対にしないと思いますか。
(7) 自分からすすんであいさつをしていますか。	(7) だれに対しても、自分からすすんであいさつをしていますか。	(7) 高学年としての自覚をもち、自分からすすんであいさつをしていますか。
(8) フレンドはんかつどうなどで、ほかの学年の友だちとあそんだり、いっしょにかつどうしたりすることはたのしいですか。	(8) フレンドはんかつどうなどで、ほかの学年のともだちといっしょに遊んだり、いっしょに活動したりすることは楽しいですか。	(8) フレンド班活動などで、下級生のことを考えたり、他の学年の友達と一緒に活動したりすることに意欲的に取り組んでいますか。
(9) ちいきに出かけて学しゅうしたり、ちいきの人とかかわったりすることはたのしいですか。	(9) ちいきの人やちいきのもの、ちいきのこととのかかわりをとおして、学ぶことは楽しいですか。	(9) 地域の人や地域のもの、地域のことから課題を見つけ、解決に向けて取り組むことは楽しいですか。

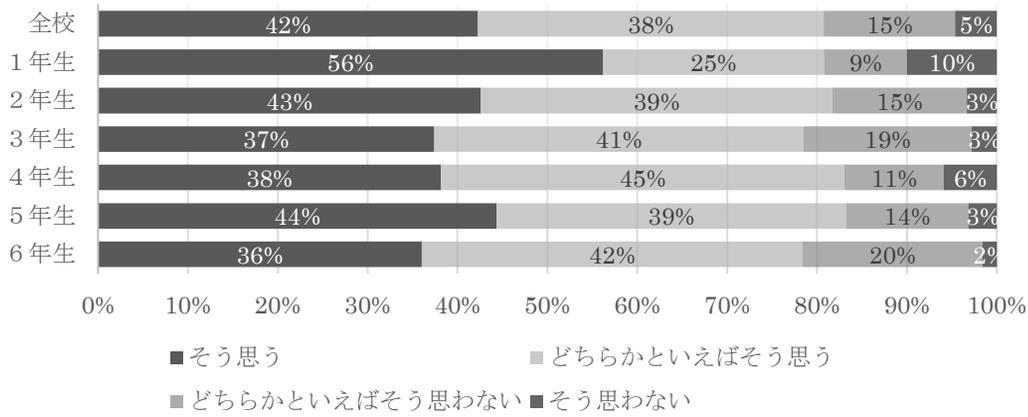
※アンケート中の児童が学習していない漢字には、ルビを振って実施しています。

1 個別最適な学びの充実について



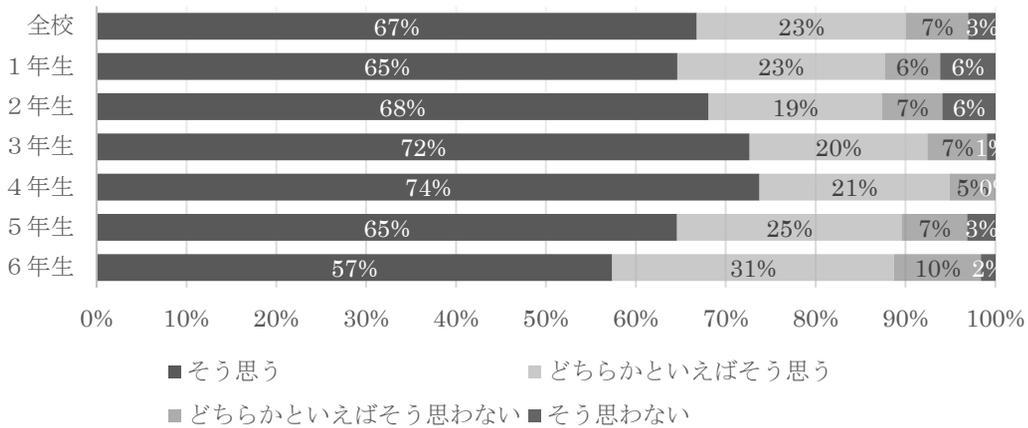
上向台小では、何を学ぶか、どのように学ぶか、児童自身が切り拓く学習を行い、児童自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した授業に挑戦しています。アンケートでは、9割以上の児童が「授業では、学習の仕方を自分で選んだり、考えたりして学習を進めている。」と肯定的な回答をしました。今後も、様々な学び方を児童に身に付けさせるとともに、自分で学び方を選択し、課題解決の見通しをもって取り組むことができるよう指導していきます。

2 協働的な学びの充実について



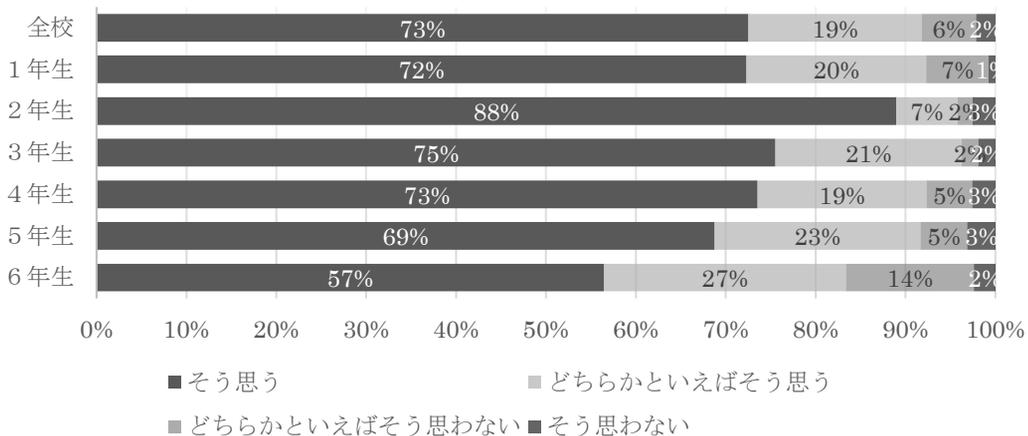
全校の約8割の児童が「自分と他の人の考えをくらべたり、考えたことを分かりやすくまとめて伝えたりすることができている。」と回答しました。授業の中で、友達や先哲の考えと比較して考えたり、関連付けて考えたり、多角的に考えたりできるようにしてきた成果が表れていると考えられます。今後も、様々な他者との共有など協働的な学びを通して、問題解決に取り組む良さを実感できる学習を展開し、比較・関連付けたり、多角的・多面的に考えたり、根拠をもって考えを表現したりする力を伸ばしていきます。

3 一人1台タブレット端末の文房具化による学びの質の向上について



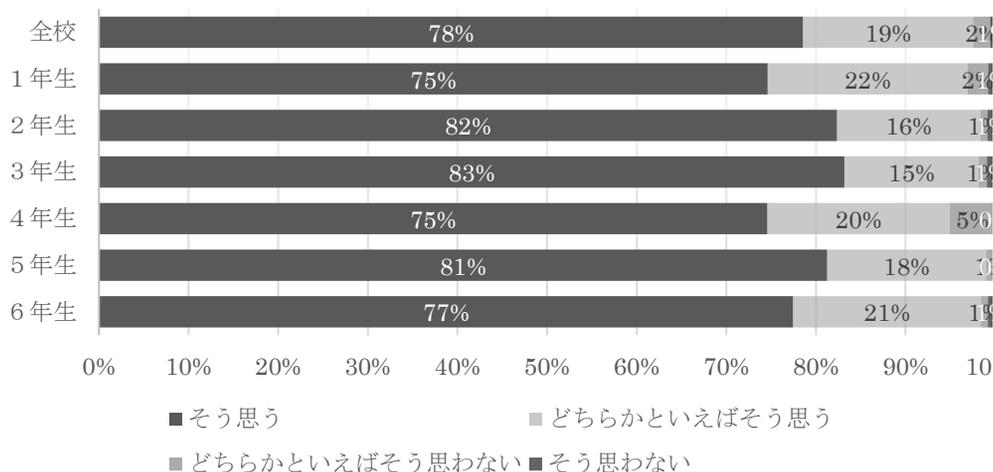
アンケート結果から、どの学年でも9割程度の児童がタブレット端末を活用して学ぶことができていると感じていることが分かります。児童自身が学び、考え、表現・発信するための文房具として、一人1台タブレット端末を活用した授業に取り組んでいる成果が表れていると考えられます。今後も、児童がこれからの社会を生き抜くために各学年の情報活用能力を意識して活用できるようにしていきます。

4 体力の向上を図るための体育の授業及び体育的活動の充実について



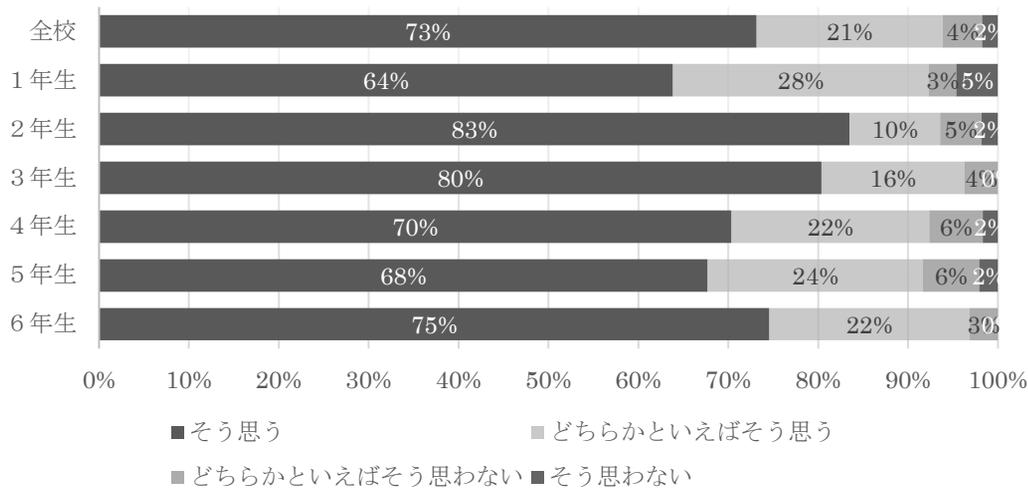
アンケートでは、体育の学習について全校児童の9割が「体育の学習に楽しく取り組み、すすんで運動している。」と肯定的に回答しました。体育の学習に意欲的に取り組んでいることがうかがえます。また、授業の他にも、体力テストやランニング旬間、ランニングデイ、縄跳びタイムなど、年間を通した体育的活動の充実を図り、豊かなスポーツライフの実現につながるような活動を充実させ、自らすすんで運動する児童を育てていきます。

5 人権教育の充実について



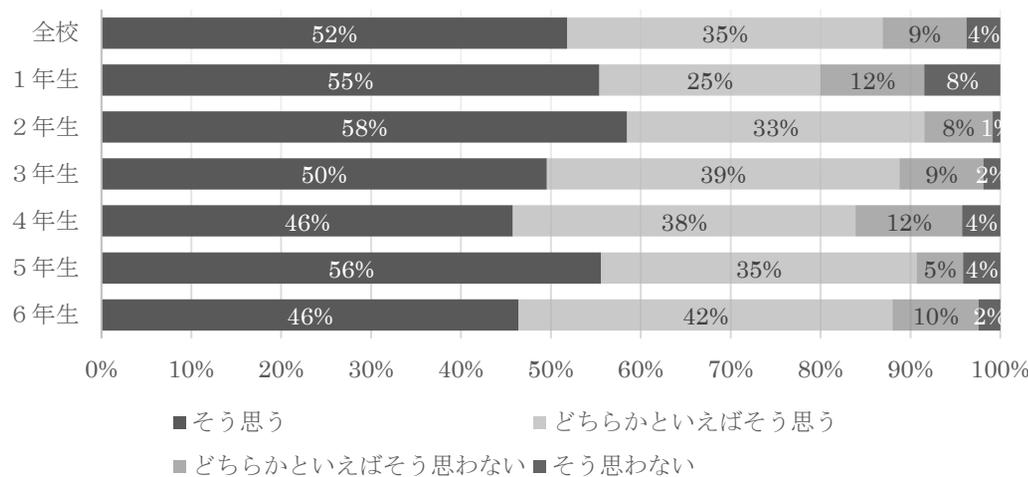
アンケートでは、全校児童の9割7分の児童が「先生は、よい行動をほめ、よくない行動をしっかりと指導してくれる。」と肯定的に回答しました。今後も、児童が安心して学校に通うことができるよう、教職員で情報を共有しながら「ほめる」「子どもの話をていねいに聞き、受け止める」ことにより、人権教育の充実を図っていきます。また、指導すべきことにつきましては、保護者の皆様との連絡を密にしながら、児童の心に響くような適切な指導を行っていきます。

6 いじめ防止に向けた取組について



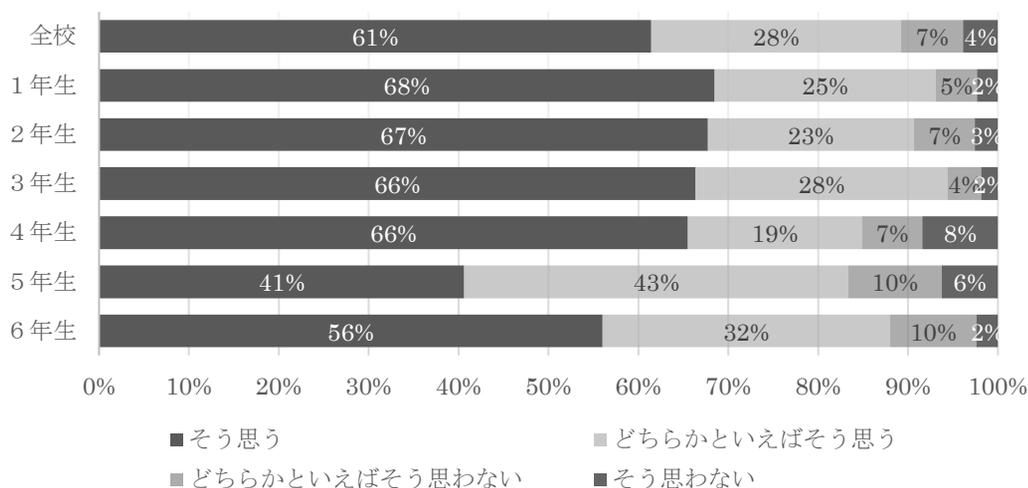
アンケートでは、全校の9割4分の児童が「絶対にいじめをしない」という意識をもって行動していることが分かります。本校では、道徳、学級活動、生活指導などを通して、いじめは人権侵害であり絶対に許されないものであることを繰り返し指導しています。また、年3回の「ふれあい月間」には、アンケートを活用して全児童の悩みや不安を聞き取ることで、いじめの実態を把握しています。今後も引き続き、教職員の組織的な対応を徹底するとともに、否定的な回答をした児童に対しても、いじめ防止について継続的な指導を行っていきます。

7 挨拶の指導について



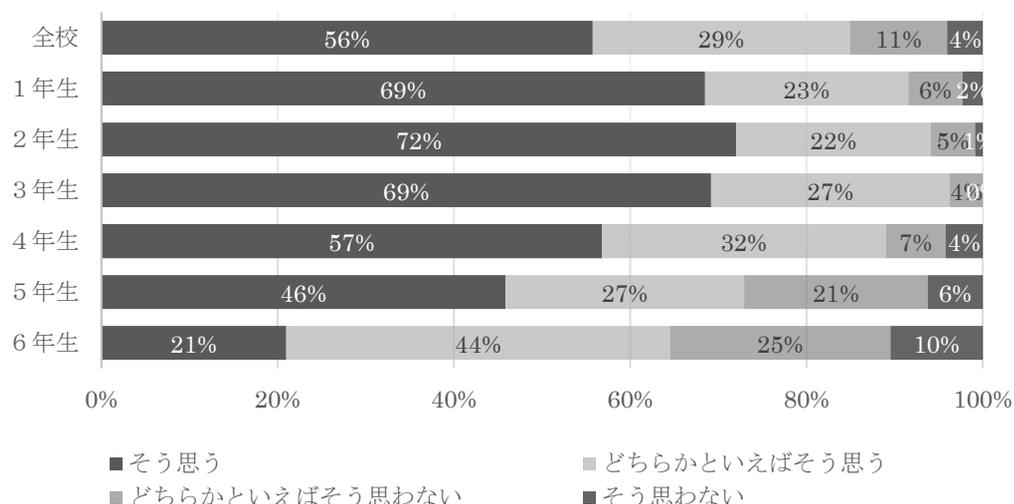
アンケートでは、全校で8割5分以上の児童が「自分からすすんで挨拶している」と回答しました。挨拶運動や委員会活動、総合的な学習の時間の取組で、高学年の児童が中心になって気持ちの良い挨拶を全校に呼び掛け、挨拶が充実してきていることが感じられます。今後は、いつでも誰にでもすすんで挨拶をすることができるような児童を育成するために、児童の良い姿を認めて伸ばしていきます。そして、保護者や地域の方に対しても、積極的に挨拶できるようなより良い挨拶習慣を育てていきます。

8 異学年交流について



アンケートでは、全校の約9割の児童が「他学年との遊びや交流活動を楽しんでいる。」と回答しました。感染症による活動の規制がなくなり、集会活動や縦割り班活動など、全学年が交流する機会を増やすことができます。今後は、学年・学級単位での異学年との交流活動や学習場面での学び合い、教え合いなど、様々な交流の方法を模索しながら、異学年交流の機会を増やしていきます。

9 地域との関わり・学習について



アンケートでは、全校の7割以上の児童が「地域の『人・もの・こと』と関わって学習することが楽しい。」と回答しました。コロナ禍を経て、地域との直接的な交流をする機会が減ってしまっています。今後は「地域とともにある学校」を目指し、各教科や総合的な学習の時間において、地域の方とのつながりをつくったり、学んだりする活動を一層積極的に行っていきます。また、「児童一人一人が地域への愛着をもち、地域の一員として何ができるかという視点をもって探究できるようなカリキュラム」を充実させ、6年間を見通して計画的に価値のある交流を行っていきます。